

仮面ライダー始めました(ありふれルート)

エボルト キルバス アマゾンズ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

20××年1月1日に絵馬に転生したいと書いてから変身ベルトの棚を整理していると地震が起きベルトがおちてきて死亡そしてキバビルドまでの力を手にありふれた職業で世界最強の世界に転生そしてはじめと一緒に奈落へ・・・

初心者投稿です暖かい目で見守ってください

## 目次

ありふれルート第一章

仮面な戦士とアニメが好きな人転生する

1

ありふれた職業が奈落へ、そして 그리스 が誕生 祝え!!!

4

ハジメ仮面の戦士になる

8

## ありふれルート第一章

### 仮面な戦士とアニメが好きな人転生する

( \*・ω・ ) ノ突然だが何処にいると思う？

女神様の前に居ます。

なぜかって？

俺はオタクで仮面ライダー好きで転生大好きな奴だからさ1月1日絵馬にこう書いたんだ

【転生したい】って！

そしたら、まじで転生しました(笑)

ちなみにここに来るためには死ななきゃいけないくて、

死ぬ時仮面ライダーのベルト棚を整理してただけど、地震が起きてベルトに埋まって死んだらしい。

あっと名乗ってなかったな俺の名前は水野KGだ俺のあだ名であり本名をもじったものだよらしく。

女神「あのーそろそろいいですか？」

KG「あっはい、大丈夫です」

女神「実はあなたの絵馬を見まして、異世界の魂が足りなくてですね、転生したいとのことですので大丈夫でしょうか？」

KG「はい、あのー質問なんですけどなんの世界に転生するのでしょうか」

女神「実はあなたには2つの選択肢がありました

1つ目がありふれた職業で世界最強

2つ目がこの素晴らしい世界に祝福を

ですどちらがいいですか？」

KG「じゃあありふれで」

女神「わかりましたじゃあ特典は何がいいですか」

KG「じゃあオーマジオウってできますか？」

女神「すいませんそれはちよつと無理ですごめんなさい」

KG「いえいえそれじゃあキバからビルドまでつてできますか？」

女神「はい大丈夫ですよ」

KG「じゃあお願いします」

女神「はい！でも申し訳ないので創造スキルと女神の祝福とポトル系を創造できるようにしておきます」

KG「ありがとうございます女神様あと最後に女神様の名前を聞きたいのですが」

女神「私の名前はじゃあツクヨミということだ」

KG「それじゃあツクヨミ様ありがとうございます」

女神「あ、そうでしたそうでした貴方は赤ちゃんからスタートですから、4才で記憶が戻るようにしておきます。それではあなたに女神の祝福があらんことを」

KG「ありがとうございます女神様」

そうして俺は転生することになったのだ

そして現在12才

いまの名前は水野逢魔なぜか名前はオーマジオウ

しかも記憶がない間に原作主人公の南雲ハジメと仲良くなつてた記憶が戻ったときにいやあ驚いたよね

そして俺以外にもイレギュラーがいた

緑谷出久（みどりや でく）こいつは緑谷出久わかっていと思うが

こいつはヒロアカの主人公の緑谷出久（いづく）が好きすぎてありふれなのに

ヒロアカ要素がある

ちなみにこいつはワン・フォー・オールとオール・フォー・ワンの両方持っている

十分こいつもチートだ、

まあ俺のチートにはかなわないんだけどな（笑）

ちなみにこの世界でのオールフォーワンは見た相手のちからを使えるという効果に変わっている。

まあ俺にはそんなの効かないんだけどね

ありふれた職業が奈落へ、そしてグリスが誕生 祝え  
!!!

( \*・ω・ ) ノ昨日ぶりまあ現在転移直前です。

女神様から連絡きたよ

女神「あのー仮面ライダーの話なんですけどすみません不具合で  
ディケイドに変身できなくなってしまいましたそれで他の女神達と  
話し合った結果オーマジオウの能力を渡すことになりましたおめで  
とうございます。」

KG「まじかちよつと残念だなディケイドに変身できないのはだけ  
どオーマジオウの能力はスゲー嬉しいね」

女神「すみませんその代わりにディエンドをネオに変えておきます  
のでああ、一応カードはゼロワンの初期フォーム系まであるのであと  
仮面ライダーの強化アイテムは一部レベルアップで解放ですので。

ベルトはアイテム ボックス的なものかららせるので頑張ってください。」

KG「ありがとうツクヨミ様」

転移する直前

ポーズ

KG「それじゃビルド系になってみよう」

ビルド ジーニアス スゲイ モノスゲイ

クローズエボル！ パネーイ マジパネーイ

KG「えつマジで エボルトいないで変身できるんだ」

KG「じゃあ次エボルト系」

A r e y o u r e a d y

KG「変身」

ブラックホール！

ブラックホール！

ブラックホール！

レボリユーション！

フツハハハハハ

KG「エボルフェーズ4」

じゃあ次ブラッドスターク

コブラ！

KG「蒸血！」

ミスト マッチ！

コツコブラ！コブラ！ファイヤー

KG「そして怪人体、」

ファイバーフロア

フツハハハハハ

KG「そしてキバ系、来いキバット」

キバット「オツシヤーキバツていくぜガブツ」

ガルルセイバー

ドツガハンマー

バツシヤーマグナム

キバット「来いたつちゃん」

タツロツト「いきますよー」

ガチャン

逢魔「こんくらいでいいかな、おっとそろそろ行くか」

タツタツタツタツ

リスタート

そしてまたまた飛びます

奈落へ落ちる直前へ

逢魔「ハジメー！ー！ー！」

エボルドライバー！

オーバーザレボリユーション！

コブラ！ライダーシステム！

エボリユーション

Are you ready

逢魔「変身！」

ブラックホール！



ブラックホール！

ブラックホール！

レボリューション

フツハハハハハ

逢魔「クツソーソー」

そうして意識がなくなったハジメを抱きしめて……………

ハジメ「何処だここ、って逢魔?!大丈夫か?!おい！」

逢魔「んん、おはようハジメ、大丈夫だったか?」

ハジメ「ああ、逢魔こそ大丈夫か?」

逢魔「ああ、ところで急だが聞こう、ここは化け物ばかりしかないヤバイところだ

だが俺はお前のことを強くできる、そこでお前にはその覚悟があるか?」

ハジメ「ああ、こつちの世界に来たときからとつくにできてるよ。」

逢魔「よし、よくいったじゃあまずあそこを錬成しろそこに神結晶と神水があるはずだ」

ハジメ「わかった」

逢魔「あつたか?じゃあこれを食べ食いながら神水を飲めじやないと死ぬぞ」

ハジメ「わかった、ってえ?う、うあああああ

ああああああああああああああああああああああああああああ

あ「ごくごく

ごくごく

逢魔「よしこれで完璧だハジメじやあ次」

デビルスチーム

うがああああああああああああああああ

逢魔「よしこれで力をわたせる、今日からお前が仮面ライダーグ

スで決定な、よろしく」

## ハジメ仮面の戦士になる

ハジメ「仮面ライダーグリス？」

逢魔「別世界の英雄または戦士のことさ、まあ俺の力の一部だと思ってくれ」

ハジメ「へーそうなのk「危ない!!」

ハ ジ メ 「え？」 ぐっ、

があああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああ

逢魔「てめえ！」

ブラックホール！

ブラックホール！

ブラックホール！

レボリューション！

フツハハハハハ

ready go

ブラックホールフィニッシュ！

ciao

爪熊「ぐああああああああああああああああ

逢魔「ハジメ！神水飲めるか？そうだゆつくり飲め、okじゃあ変身！パーフェクトパズル！回復！回復！回復！回復！回復！回復！

回復！よし腕が再生した！おっとお疲れ、じゃあ一回オルクスの隠れ家行くか」

そして2日後

逢魔「ちよつと行ってくる」

ハジメ「早く帰って来いよ」

逢魔「へいへい」

ブラックホールでワープ

ユエのいる部屋の前

逢魔「ここか」

ちよつと飛んで

ユエ「名前つけて」

逢魔「じゃあユエはじめて見たとき月のようだったからユエ! どうだ?」

ユエ「ユエ、ユエ、えへへ」

逢魔「気に入ったようでなによりじゃあ行きますか」

ユエ「何処に?」

逢魔「オルクスの隠れ家さ」

ユエ「よく分からないけどあなたを信じる」

逢魔「ところでなんで頬を赤らめながら腕に抱きついてくるの?」

ユエ「ふふっ」

逢魔「ねえ、なになんなの怖いよ、ああもういいやとりあえず行くぞ!」

そしてオルクスの隠れ家

逢魔「おーいハジメーグリス一式持ってこっち来い訓練するぞ!」

ハジメ「OK今行く」

逢魔「ハジメ使い方はわかるな?」

ハジメ「ああばっちりだ。」

逢魔「よし、じゃあ変身して見ろ」

ロボットゼリー

潰れるう

流れるう

溢れでるう

ロボットイングリスウ

おおおおおおおらああ

グリス「心火を燃やしてぶっ潰す」

逢魔「じゃあ俺も行くか」

コブラ

逢魔「蒸血」

ミストマツチ

コッコブラ……コブラ……ファイヤー

スターク『じゃあハザードレベルを凶りながら上げていくぞ』

グリス「ああ、いくぞ！」

スターク『来いよ』

そして

スターク『結局ハザードレベルは6，1まで上がったな』

ハジメ「ああ、もう動けねー」

逢魔「そろそろ飯の時間だ行くぞハジメ」

ハジメ「ちよ、ちよつと待って」ハアハア

ちよつと飛んで

逢魔「今日の晩飯はビーフストロガノフです」

ハジメ「おお、俺の好きなやつじゃん逢魔のビーフストロガノフはめちやくちや旨いからなー」

ユエ「逢魔の作るビーフストロガノフはすごく美味しい」ジュルリ  
逢魔「それじゃあいただきます」「いただきます!!」